



京都大学サイエンスフェスティバル2018の和歌山県代表に選ばれました!

京都大学との間で高大接続・高大連携に関する協定を締結している都道府県や市から代表校(13校)が集まり、研究の口頭発表を行う『京都サイエンスフェスティバル2018-科学の頭脳戦-』が3/16(土)に京都大学で開催されます。SS探究科学Ⅱの授業で環境科学科2年生物理ゼミが研究している『南海トラフ巨大地震を想定した通信インフラの迅速な復旧に向けて』の研究が、和歌山県の審査を通過し、和歌山県代表として出場します。他府県の代表校の発表からも大いに刺激を受けて帰ってきたいと思えます。また、本校生徒も力の限り発表してきます。



本校生徒の課題研究が読売新聞に掲載されました!!

ポスターセッション 高校生が研究成果をプレゼンテーション

12/9(日)京都産業大学で開催された「益川塾第11回シンポジウム」で、環境科学科2年生4名のSS探究科学Ⅱで取り組んだ課題研究「南海トラフ巨大地震を想定した通信インフラの迅速な復旧に向けて」が最も良い賞である益川塾頭賞を受賞したことが1/20(日)の読売新聞17面に掲載されました。

高校生が日頃の研究成果を発表するポスターセッションには、全国から15校19チームが参加した。西大和学園高校の「クロレラの等電点付近における凝集性の解明」と、和歌山県立向陽高校の「南海トラフ巨大地震を想定した通信インフラの迅速な復旧に向けて」が益川塾頭賞に選ばれた。西大和学園高校2年生の中澤正樹さんは「何度も実験を重ね、その結果こつこつと賞をいただけるのがうれしい」と研究の苦勞を振り返った。向陽高校2年生の細川大輔

さんは「プログラミングを一から勉強して研究に取り組みました。今後さらに研究を深め、実用化を目指せればと思います」と笑顔で今後の目標についても語った。



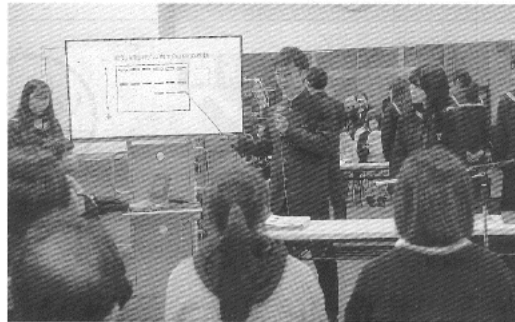
ポスターセッション参加校

- 札幌日本大学高等学校
- 市立札幌南高等学校
- 札幌南高等学校
- 石川県立七尾高等学校
- 富山県立富山高等学校
- 富山県立富山高等学校
- 京都府立宇治高等学校
- 京都府立宇治高等学校
- 池田大学附属高等学校
- 堺市立堺高等学校
- 福井県立福井高等学校
- 西大和学園高等学校
- 和歌山県立向陽高等学校
- 岡山県立岡山一宮高等学校



本校生徒の課題研究が和歌山新報に掲載されました!!

りら創造芸術高校とブドウハゼについて共同研究を行っている環境科学科2年生5名が1/15(火)にりら創造芸術高校にて研究成果の報告会を行いました。その内容について1/18(金)の和歌山新報7面に掲載されました。枯死したと考えられていたブドウハゼの原木が枯死していなかった可能性が高く、天然記念物再指定に向けて、これからも研究を続けていきます。



DNA調査の結果を報告する向陽高の生徒ら

りら・向陽生ら調査

かつて指定された天然記念物だったが、現在は枯死したとされている野間町地区のブドウハゼについて、2017年にりら創造芸術高校の生徒が調査を行い調査結果を報告した。その結果、枯死したとされていた原木が、実は生きていることがわかった。共同調査している向陽高校の生徒にも調査結果が共有され、原木のDNAが一致していることが確認された。

天然記念物再指定へ研究報告

ブドウハゼのDNA一致



原木から増殖したと考えられる発芽種ブドウハゼ

2018年に新指定された天然記念物だが、現在は枯死したとされている野間町地区のブドウハゼについて、2017年にりら創造芸術高校の生徒が調査を行い調査結果を報告した。その結果、枯死したとされていた原木が、実は生きていることがわかった。共同調査している向陽高校の生徒にも調査結果が共有され、原木のDNAが一致していることが確認された。

今回のDNA調査は、近畿大学生物理工学部の奥田教授の協力で行われた。昨年7月10日、向陽高校の生徒らと奥田教授らによる調査が行われた。調査の結果、枯死したとされていた原木が、実は生きていることがわかった。共同調査している向陽高校の生徒にも調査結果が共有され、原木のDNAが一致していることが確認された。



2/11(月)に「高校生のための和歌山未来塾」が開催されます!

山未来塾」が開催されます!

「高校生のための和歌山未来塾」は、和歌山県長期総合計画でめざす教育の将来像「未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山」の実現に向けて、ふるさとの豊かな自然・文化を誇る態度や科学技術等に対する探求心を育て、国際社会の中で豊かに生きる力を高めるために、様々な分野のオピニオンリーダーを招き開催する教育講演会です。2/11(月・祝)に和歌山県勤労福祉会館プラザホープにて、「人間の科学が進歩する21世紀～みんなが科学に参加する時代が来た～」と題して京都大学名誉教授・JT生命誌研究館顧問の西川伸一先生が講演します。「人間とは何か」「未来の人間研究」について興味関心のある生徒は2/1(金)までに1棟3階SSH・環境科学科準備室の山中まで申し込みに来てください。また、来年度に課題研究(KECREⅡ・SS探究科学Ⅱ)を行う人は、課題研究のヒント探しで参加するといいかもかもしれませんよ～。

